

## 悪影響は「想定以上」＝消費増税―黒田日銀総裁

2015/05/13 時事通信ニュース 361文字

日銀の黒田東彦総裁は13日、参院の「国民生活のためのデフレ脱却及び財政再建に関する調査会」に出席した。黒田総裁は2014年4月の8%への消費税率引き上げについて「経済に想定以上の影響を与えたのは事実だ」と指摘。駆け込み需要の反動減や実質所得の減少による消費の低迷が「やや予想を超えた大きさだったと認めざるを得ない」と語った。

黒田総裁は、増税前の13年9月の記者会見で「予定通り増税しても、基調的に潜在成長率を上回る成長が続く。景気が腰折れするとは思っていない」と、増税の影響について楽観的な見方を表明。政府に対し、財政再建を着実に進めるよう促していた。

日銀は4月末に公表した経済・物価情勢の展望（展望レポート）で、14年度の実質GDP（国内総生産）見通しを前年度比マイナス0.9%に下方修正している。

〔時事通信社〕



JIJI PRESS  
時事通信社